

2023年度学生生活アンケート結果——学修成果・成長実感について

■調査と分析方法■

学修成果・成長実感に係る設問は20問あります（下図参照）。

各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の4択で回答してもらいました。

検証にあたっては回答をポイント化し（「あてはまらない」=1, 「ややあてはまらない」=2, 「ややあてはまる」=3, 「あてはまる」=4）, その平均を過去4年の値と比較しました。

2023年度は調査対象者数818名のうち回答が得られた445名（回答率54.40%）の結果を分析しました。

■分析■

2023年度卒業生の在学中の推移（1年生時（青）, 2年生時（赤）, 3年生時（緑）, 4年生時（紫））をみると、概ね年次が進むにつれて値が高くなる傾向がみられます（図7）。とりわけ、コミュニケーション能力やパソコンの技能、専門知識や教養（設問49～52）のポイントが3.00以上と成長実感が高い様子がうかがえます。

学年別にみても、学年が高いほど成長を感じている学生が多いことがわかります（図8）。一方、コミュニケーション能力（設問49）や外国語能力、国際的視野、チーム能力、社会的活動への姿勢（設問55～58）をめぐる実感は比較的、乏しい様子もうかがえます。

図7 学修成果・成長実感（卒業生、在学中の推移）

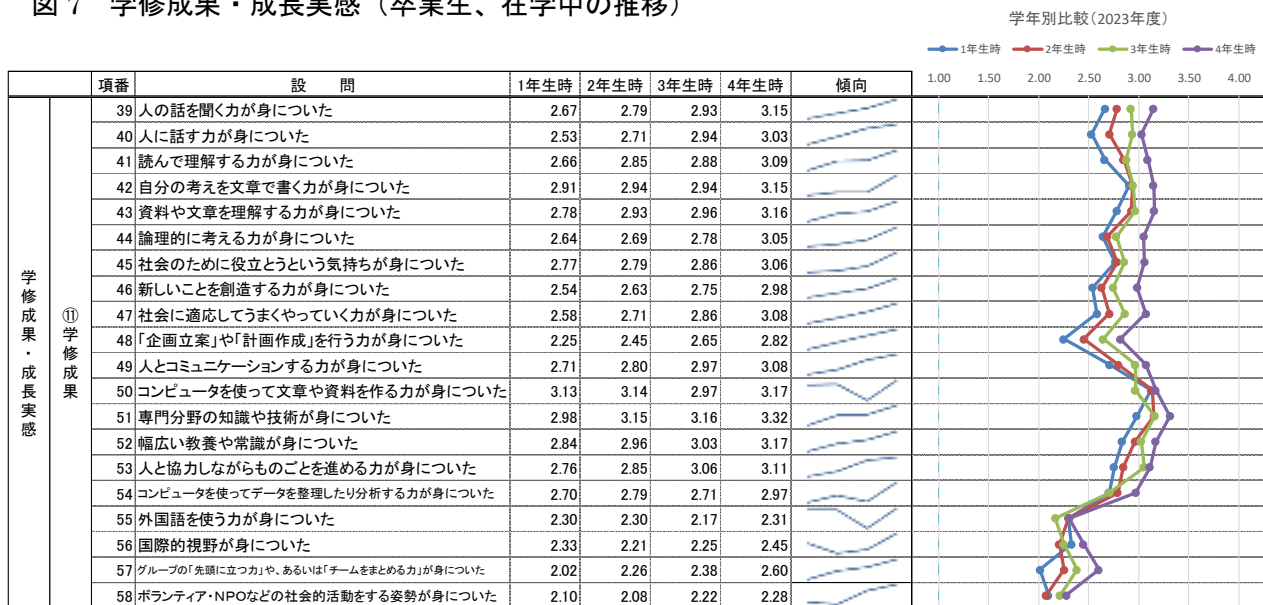


図 8 学修成果・成長実感（学年別）

